

<報道発表資料>

.....
カテゴリー: イベント

令和8年8月21日

さいたま文学館 企画展 「生誕 110 周年 児童文学者・瀬田貞二のおもかげ —自分流に子どもの本とつきあう暮らし—」の開催について

さいたま文学館では、企画展「生誕 110 周年 児童文学者・瀬田貞二のおもかげ—自分流に子どもの本とつきあう暮らし—」を開催します。

企画展の概要

1 趣旨

埼玉県に30年近く暮らした瀬田貞二（1916-1979）は、翻訳、評論、編集、創作など、幅広い分野で日本の現代児童文学を牽引してきました。『三びきのやぎのがらがらどん』や『指輪物語』（J. R. R. トールキン作）などの翻訳をはじめ、『お父さんのラッパばなし』や『きょうはなんのひ?』といった創作にいたるまで多くの作品を世に送り出しました。

この企画展では、瀬田が手がけた図書や雑誌をはじめ、『指輪物語』の直筆原稿や挿絵原画などの貴重な資料を展示し、瀬田の多岐にわたる業績を振り返るとともに、長年にわたり子どもたちに愛され続けてきた作品の魅力に迫ります。

2 会期

令和8年9月19日（土曜日）から11月23日（月曜日・祝日）まで

休館日：月曜日（9月21日、10月12日、11月23日は開館）

10月13日（火曜日）、10月27日（火曜日）

特集展示コーナーのみ令和8年9月8日（火曜日）から11月23日（月曜日・

祝日)まで

3 会場

さいたま文学館 企画展示室 及び 常設展示室内特集展示コーナー

所在地：桶川市若宮 1－5－9

交通：JR 高崎線桶川駅西口から徒歩約 5 分

4 開館時間

午前 10 時から午後 5 時 30 分まで（観覧受付は午後 5 時まで）

5 観覧料

一般 210 円 高校生・学生 100 円

（中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方とその介助の方 1 名は無料）

6 展示構成

（1）プロローグ 『児童百科事典』の刊行～子どもたちのために～

瀬田が子どもの本の世界に本格的に足を踏み入れるきっかけとなった『児童百科事典』について紹介します

（2）第 1 章 翻訳

「指輪物語」や「ナルニア国ものがたり」、『おやすみなさい おつきさま』などの瀬田が翻訳した作品を紹介します

（3）第 2 章 昔話・再話

『三びきのやぎのがらがらどん』や『おだんごぱん』など、瀬田が翻訳・再話した昔話を紹介します

（4）第 3 章 創作

瀬田の家族やエピソードをモデルとした『お父さんのラッパばなし』や『きょうはなんのひ？』など、瀬田の手がけた代表的な創作作品を紹介します

（5）第 4 章 評論・研究

石井桃子らと行った子どもの本の勉強会「ISUMI（いすみ）会」の活動や、瀬田の

ライフワークである『落穂ひろい』などの評論・研究活動を紹介します

(6) エピローグ 瀬田文庫の思い出～子どもに本を手わたすこと～

瀬田が浦和の自宅ではじめた家庭文庫での活動を紹介します

(7) コラムコーナー（常設展示室内特集展示コーナーで開催）

ア 瀬田貞二と俳句～余寧金之助として～

大学時代に句作をはじめ、「余寧金之助」として詠んだ瀬田の俳句や、俳人・中村草田男や金子兜太とのかかわりを紹介します

イ 瀬田貞二とおもちゃ絵

瀬田が収集していたおもちゃ絵コレクションを、本人が付けた解説と併せて紹介します（作品保護のため、おもちゃ絵は会期中展示替えを行います）

ウ 瀬田貞二のスケッチ

瀬田が描いたスケッチをもとに、瀬田が造詣の深かった江戸の遊び歌や郷土玩具について紹介します

7 関連事業

(1) 記念講演会「瀬田貞二さんのまなざし」

日時：令和8年9月26日（土曜日）午後2時～3時30分

会場：さいたま文学館 文学ホール

内容：瀬田と長年親交のあった斎藤惇夫氏に、編集者として作家として、瀬田から教わったことをお話いただきます。

定員：200名（電話受付・先着順）

講師：斎藤惇夫氏（元福音館書店編集者・児童文学者）

(2) 企画展スライドトーク

日時：令和8年11月14日（土曜日）午後2時～3時

会場：さいたま文学館 文学ホール

内容：企画展担当職員が、本展の概要やみどころなどをスライドで説明します。

定員：200名（事前申し込み不要・先着順）

(3) 担当職員による展示解説

日時：令和8年9月30日（水曜日）、10月21日（水曜日）

各日午後2時00分～2時30分

会場：さいたま文学館 企画展示室

定員：なし（事前申し込み不要、参加者は当日直接企画展示室に集合）

（４）申込方法

ア 関連事業（１）はさいたま文学館までお電話（０４８－７８９－１５１５）もしくは文学館３階事務室にて申込受付（先着順）。

イ 関連事業（２）（３）は事前申し込み不要。当日直接会場にお越しください。

※関連事業は参加費無料です。

8 問合せ先

教育局文化財・博物館課文学担当（さいたま文学館駐在）安達

〒363-0022 桶川市若宮 1-5-9

電話 048-789-1515 F A X 048-789-1517

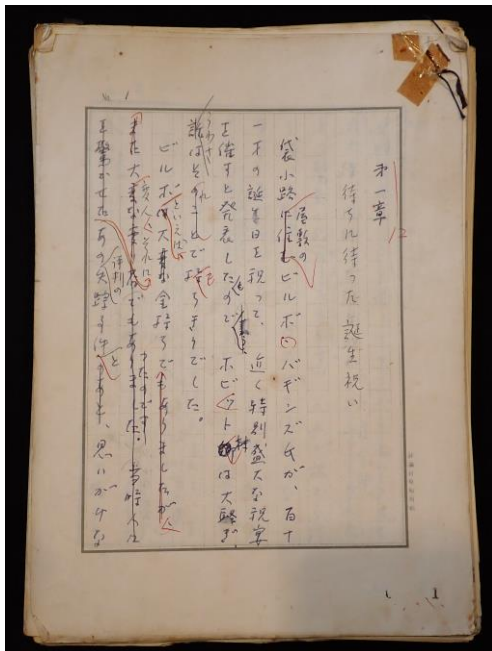
ホームページ <https://www.saitama-bungaku.jp/>

E-mail info.saitama-bungaku@kpb.co.jp

【主な展示資料】



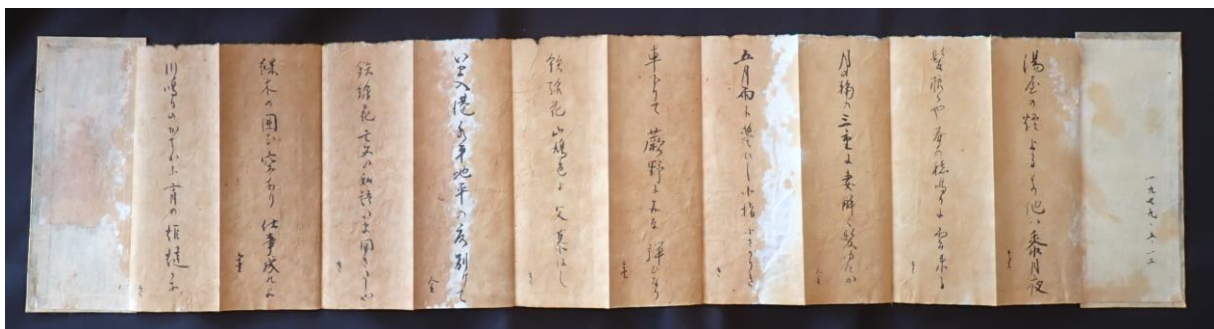
『児童百科事典』全24巻 平凡社 1951-1956 個人蔵



直筆原稿「指輪物語 旅の仲間（上）」
瀬田貞二・田中明子（共訳） 個人蔵
田中の下訳に瀬田が手を加えるかたちで
「指輪物語」の翻訳作業が行われた。



挿絵原画「指輪物語 旅の仲間（下）」
寺島龍一（画） 評論社蔵



「唱和句集」瀬田貞二・瀬田きくよ 1979年5月13日 個人蔵
瀬田と妻の俳句を交互に書いて作られた折本。